

結 果 の 概 要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は 3,759 人で、前年の 4,161 人から 402 人減少し、出生率（人口千対）は 5.9 で、前年の 6.4 を下回った（全国第 19 位）。

合計特殊出生率は 1.46 で、前年の 1.57 を下回った（全国第 6 位）。第 1 位は沖縄県（1.60）、第 2 位は長崎県、宮崎県（1.49）、第 4 位は鹿児島県（1.48）、第 5 位は熊本県（1.47）、第 6 位は福井県、島根県、佐賀県（1.46）である。

(2) 死亡数は増加

死亡数は 10,461 人で、前年の 10,434 人から 27 人増加した。死亡率（人口千対）は 16.3 で、前年の 16.1 から 0.2 増加した（全国第 9 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 23.5%、13.4%、12.6%である。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△6,702 人で、前年の△6,273 人から減少数が 429 人増加し、自然増減率（人口千対）は△10.5 で、前年の△9.7 より減少率が 0.8 増加した（全国第 37 位）。本県では平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減が続いている。

(4) 死産数は減少

死産数は 65 胎で前年の 71 胎より 6 胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 17.0 で、前年の 16.8 を上回った。死産率のうち、自然死産率は 10.7（前年は 10.6）、人工死産率は 6.3（前年は 6.1）となっている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、2,095 組で、前年の 2,167 組から 72 組減少し、婚姻率（人口千対）は 3.3 で、前年と同一であった（全国第 31 位）。

平均初婚年齢は夫 30.0 歳、妻 28.9 歳で、夫は前年より 0.3 歳低下、

妻は前年より 0.2 歳低下した（全国平均は夫 31.1 歳、妻 29.7 歳で、前年と同一であった）。

（6）離婚件数は減少

離婚件数は 799 組で、前年の 813 組から 14 組減少し、離婚率（人口千対）は 1.25 で前年と同一であった（全国第 43 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	令和5年	令和4年	対前年増減	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年
出生	3,759	4,161	△ 402	5.9	6.4	2時間19分49秒	2時間6分18秒
死亡	10,461	10,434	27	16.3	16.1	50分14秒	50分22秒
乳児死亡	9	4	5	2.4	1.0	40日13時間20分	91日6時間
新生児死亡	4	1	3	1.1	0.2	91日6時間	365日
自然増減	△ 6,702	△ 6,273	△ 429	△ 10.5	△ 9.7	…	…
死産	65	71	△ 6	17.0	16.8	5日14時間46分9秒	5日3時間22分49秒
自然死産	41	45	△ 4	10.7	10.6	8日21時間39分30秒	8日2時間40分
人工死産	24	26	△ 2	6.3	6.1	15日5時間	14日55分23秒
周産期死亡	11	15	△ 4	2.9	3.6	33日4時間21分49秒	24日8時間
妊娠22週以後の死産	7	14	△ 7	1.9	3.4	52日3時間25分42秒	26日1時間42分51秒
早期新生児死亡	4	1	3	1.1	0.2	91日6時間	365日
婚姻	2,095	2,167	△ 72	3.3	3.3	4時間10分52秒	4時間2分32秒
離婚	799	813	△ 14	1.25	1.25	10時間57分49秒	10時間46分29秒

	令和5年	令和4年
合計特殊出生率*	1.46	1.57

* 分母に用いた人口
5歳階級別総人口（総務省推計）

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。

死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満 22 週以後の死産）千対である。